



バンコク便り



1. はじめに

新型コロナ感染拡大を受け、5月1日よりバンコクを含む6都県が厳格最高区域（ダークレッドゾーン）に再指定され、店内飲食禁止や教育機関の閉鎖、一部商業施設の休業など、今月はより自粛が求められる生活となりました。17日には管理地域変更などの規制が緩和され、時短営業及び店内飲食は解禁されましたが、店内でのアルコール提供は全国的に禁止されたままです。市場や刑務所での大規模クラスター発生により1日当たりの新規感染者数が大幅に更新され、バンコクの街中では1,000人程度まで増えているため、行動制限はしばらく続きそうです。

2. 当地ビジネス情報

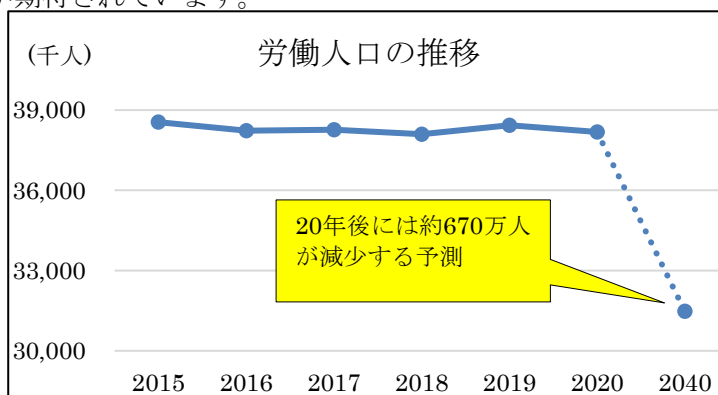
（製造業でのDX推進）

タイの製造業はGDPの約30%を占める基幹産業の一つですが、ASEAN周辺国の台頭や少子高齢化による労働人口減少などの課題を抱えております。競争力を維持するためには産業の高度化が不可欠であり、新型コロナ感染拡大により、日本でも注目されているDX（デジタルトランスフォーメーション）を進めるための5GやIoT活用、FA導入の機運が高まってきています。

今年2月には日本やタイの通信業13社により、「海外法人5Gソリューションコンソーシアム」（5GEC：ファイブジェック）が設立され、海外に拠点を持つ企業向けに、ローカル5Gネットワーク提供、システム導入やサーバーの管理代行などをアウトソースするサービス（＝マネージドサービス）までを含めた各種サービスがワンストップで提供される予定です。その第一弾として多くの製造業が進出しているタイにて実証実験および商用サービスを始め、アジア太平洋地域を中心に対応地域の拡大を目指すそうです。このようなサービスを利用することにより、既存設備への外付けセンターによるIoT分析や専門家によるサポート、ローカル5Gによるセキュリティリスク対策などが可能となり、製造業の高度化が期待されています。



出展:NTT ドコモ



出展:BOT(予測:NESDC)

3. 現地トピックス

（待望のワクチン接種情報）

5月21日、在住外国人の新型コロナ・ワクチン接種日程がタイ政府より発表されました。在タイ日本国大使館によると、6月7日より外国人を含む全国で大規模接種を開始し、指定病院にてオンライン登録を行う流れとなっています。早速アクセスしたところ既に締切となっており、更新情報を気長に待つ必要がありそうです。またタイ人を対象とした、バンコク居住者用ワクチン接種登録システムが発表されました。コンビニで登録できるなどワクチン接種の流れが急加速する中、一刻も早く接種したいとの声がある一方で、有料でも良いからワクチン種類を選びたいと考える人も多く、今後のワクチン動向から目が離せない状況です。

バンコク居住者用登録システム

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・軽部・高橋・榎 023-626-9050
【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）